

資料 4

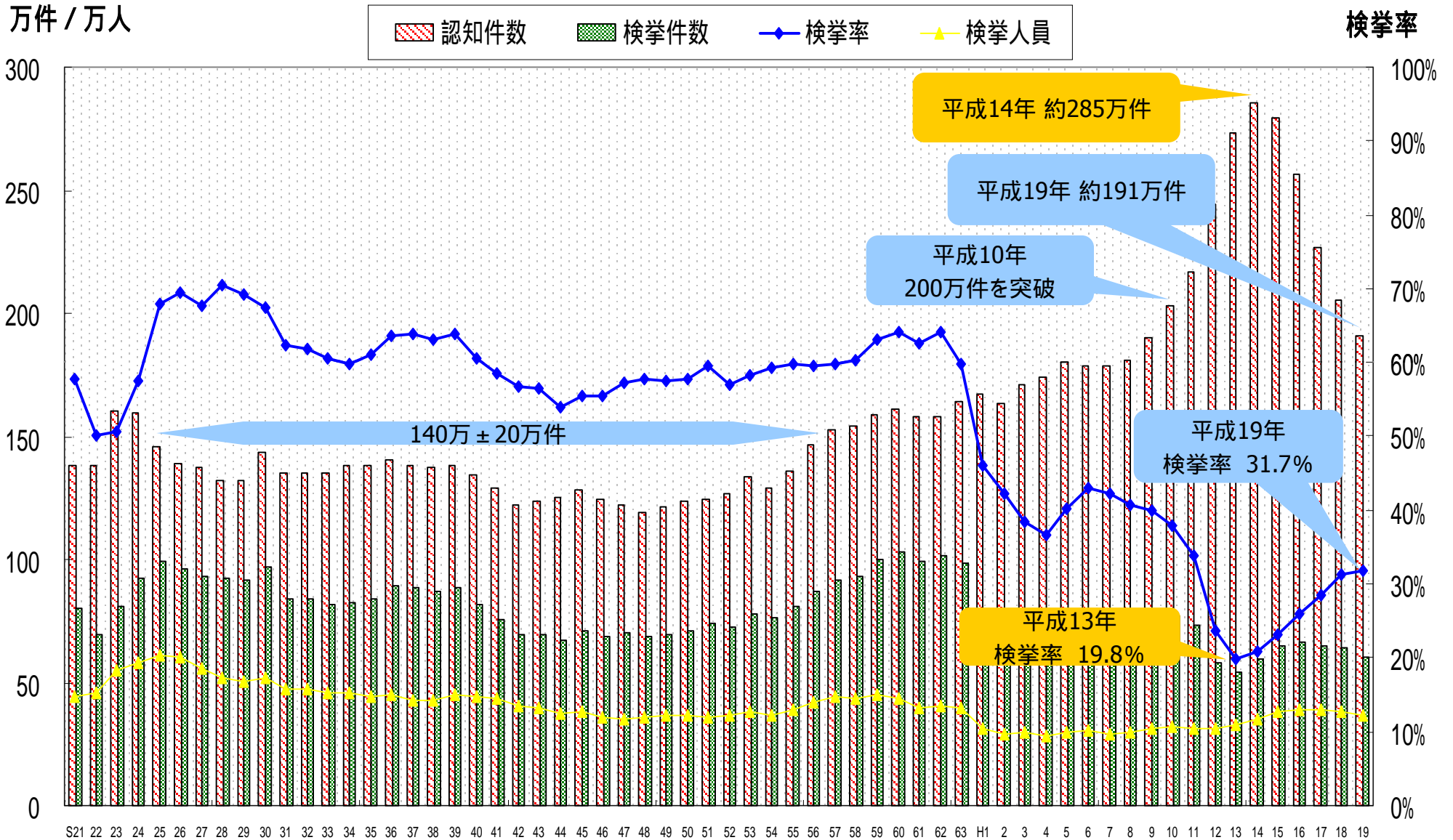
科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
安全・安心科学技術委員会（第16回）H20.11.25

最近の犯罪情勢及び 振り込め詐欺の現状と課題

平成 2 0 年 1 1 月 2 5 日

最近の治安情勢

刑法犯認知件数・検挙件数・検挙人員・検挙率の推移(昭和21年～平成19年)

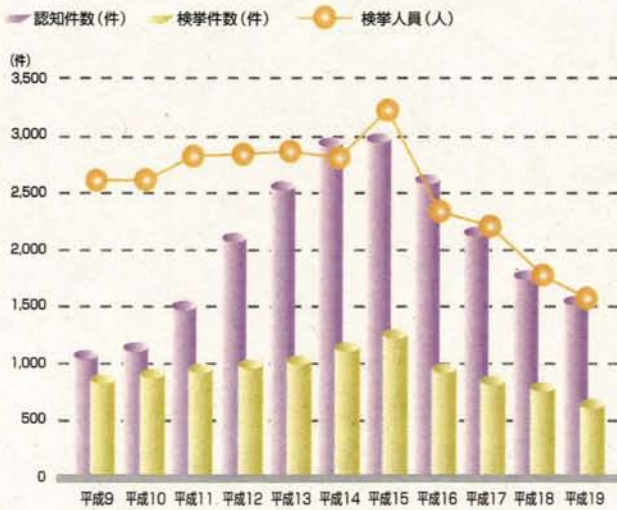


02 街頭犯罪・侵入犯罪の現状と対策

国民の方々が、身近に不安を感じている、路上強盗、ひったくり等の街頭で行われる犯罪(街頭犯罪)や侵入窃盗、侵入強盗等の住宅等に侵入して行われる犯罪(侵入犯罪)の増加に対して、警察では、警察庁に「街頭犯罪等抑止総合対策室」を設置するとともに、各都道府県警察においても、地域の実情に応じて犯罪抑止計画を策定し、街頭犯罪・侵入犯罪抑止総合対策を強力に推進しています。

街頭犯罪の現状

路上強盗の認知・検挙状況の推移



ひったくりの認知・検挙状況の推移



自動車盗の認知・検挙状況の推移



略取・誘拐の認知・検挙状況の推移



注1:「街頭」とは、道路上、駐車(輪)場、都市公園、空き地、公共交通機関等(地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港、バス内)、その他の交通機関(タクシー内、その他の自動車内)及びその他の街頭(地下街地下通路、高速道路)とした。

街頭犯罪を抑止するための対策

街頭犯罪の発生を抑止するため、パトロールや検挙活動を強化するとともに、防犯教室や防犯訓練を通じて具体的な防犯指導を行うほか、ホームページや広報紙等を活用して防犯情報の発信を行っています。



ひったくり等の街頭犯罪を抑止するための体制の強化
(千葉県警察の職務質問訓練)



街頭における防犯指導

(愛知県の防犯少年団(通称コノハキッズ)による危険個所の把握)



犯罪情報の提供

(岐阜県警ホームページに掲載の「犯罪発生マップ」)

被害に遭わないために

ひったくり対策

●歩行中のバッグの持ち方

- ・車の通る側と反対側に持つ。
- ・肩掛け式のバッグは身体につけ、バッグのベルトを握りながら脇を閉じる。

●自転車の前かごにフタ

- ・前かごに入れるときは、バッグの上に新聞や雑誌、ひったくり防止カバーでフタをする。

●通り道の選び方

- ・「人通りが多い」「夜間でも明るい」「歩車道の区別(分離柵)がある」といった道を選ぶ。

●後方への心配り

- ・ときどき後ろを振り返る。
- ・車両や人が近づいてくる気配がしたら、その方向を見る。

自動車盗・車上ねらい対策

- ちょっとした駐車でも、キーを抜き、ドアロックをかける。

- イモビライザー装備の車を選ぶ。

- バー式ハンドルロック、GPS追跡装置等の盗難防止装置を有効活用する。

- 車内にスペアキー、貴重品を置きっぱなしにしない。

- 明るく監視の行き届いた駐車場を選ぶ。

03 自主防犯活動の支援

犯罪の発生を抑止し、安全で安心なまちづくりを実現するためには、警察活動を充実強化するだけでなく、国民の防犯意識を高め、自主的な防犯活動を推進することにより、「犯罪に強い社会」を構築することが重要です。このため、警察では、地域住民の自主防犯活動の支援に取り組んでいます。

犯罪のない安全で住み良い地域社会を実現するためには、地域住民、地方公共団体及び警察が協働して防犯活動を推進することが極めて重要です。

自主防犯活動の現状

平成19年12月31日現在、全国約3万8,000の防犯ボランティア団体が活躍しています。



防犯ボランティア団体によるパトロール（新潟県）

防犯ボランティア団体の増加状況



全国の活動事例等は、警察庁の自主防犯ボランティア活動支援サイトをご確認ください。

05

活性化に向けた取組みと警察の支援

青色回転灯を装備した防犯パトロール用自動車の運用

平成19年12月31日現在、全国で約5千400団体が約2万台を運用しています。



青色回転灯を装備した自動車による防犯パトロール（静岡県）

青色回転灯を装備した防犯パトロール自動車の運用状況



【手続き】

証明申請

警察での審査

証明書・標章・パトロール実施者証の交付

青色回転灯の取付・パトロール開始

自動車検査証への記載

※青色回転灯を装備した自動車による防犯パトロールを行うには警察から証明を受ける必要があります。詳しくは、最寄りの警察本部、警察署にお問い合わせ下さい。

地域安全安心ステーション推進事業

全国600地区の防犯ボランティア団体を選定し、パトロール用品の貸与等の支援を行っています。また、この事業が呼び水となり、自治体等による防犯ボランティアへの支援が拡大することを期待しています。



地域安全安心ステーション推進事業（兵庫県）

地域安全情報の提供

都道府県警察が提供する犯罪発生情報や防犯対策情報を確認し、皆さんの防犯行動や、地域における防犯ボランティア活動等に活用してください。



ホームページによる犯罪情報等提供（福島県）

防犯ボランティア活動をはじめませんか

今、安全で安心して暮らせる地域社会の実現が強く求められています。これを実現するためには、地域住民による防犯の輪を広げることがとても重要です。ポイントは、「無理をせず・できることから」です。

●まず、できることから始めよう！

防犯ボランティアは、はじめから完全なものを求めると長続きしません。たとえば、町内でのあいさつ、声かけ運動や散歩、買い物時のパトロールでも犯罪者を寄せ付けられない人の目を確保し、犯罪企図者の接近の防止という効果があります。

●町内会やPTAなどと連携しましょう！

町内会やPTAなど、地域や子どもの安全確保に取り組んでいる団体は数多くあります。みんなで力を合わせて効果的な活動しましょう。

●防犯パトロールは、昼と夜の2回が効果的です！

ドロボウや子どもに対する声かけ等は、昼夜を問わず発生します。昼だけでなく、夜も防犯パトロールを行い、安全で安心な町を作り上げましょう。

●パトロールは、なるべく目立つ姿で！

パトロールする時は、蛍光色のジャンパー（反射材付）を着用したり、携帯誘導灯など光を発するもの、拍子木や鈴（ハンドベル）などを携帯すると存在感を強く示すことができ、効果があります。

自主防犯ボランティア活動支援サイト

全国の防犯ボランティア活動の充実が図られるよう、全国約4,300の防犯ボランティア団体を紹介するとともに、青色回転灯を装備した自動車による防犯パトロール活動、地域安全安心ステーション事業の実施地区における防犯ボランティア活動等の好事例として約670団体の活動を紹介しています。アクセスは、下記へ。



URL <http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki55/index.html>

振り込め詐欺は、近親者の情愛につけ込み、人と社会の信頼関係を逆手に取るなどきわめて卑劣な犯罪であり、被害者の中には、かけがえのない財産を根こそぎ奪われ自殺に追い込まれた者もいる。また、ビジネス化した組織的な犯罪の典型でもある。

この振り込め詐欺を撲滅し、真に安全、安心な社会を取り戻すためには、取締りを徹底することはもとより、犯罪者たちが容易に犯行を行うことができない環境をつくるため、官民を問わず社会を挙げて、以下の対策に取り組む必要がある。

1 振り込め詐欺の検挙の徹底

捜査体制を強化するとともに、通信履歴の保存について関係事業者の協力を得るなどにより捜査を効率化し、もって振り込め詐欺グループの首謀者に至るまでの摘発検挙を徹底する。

また、犯行ツールを供給する「道具屋」や悪質なレンタル携帯電話事業者の取締りを徹底し、犯罪に不可欠とされる道具の流通を遮断する。

2 ATM周辺における対策の徹底

ATM周辺で、振り込みに訪れた被害者を発見し説得することができれば、被害を瀬戸際で防止することができる。また、ATM周辺で、詐取金の引き出しにやって来た「出し子」を見破り取り締まることができれば、犯罪を瀬戸際で阻止することができる。いずれにしても、ATM周辺は、振り込め詐欺の被害と犯行を食い止める最後の砦である。

ATM周辺における防犯レベルを高めるため、警察官の立寄りを強化することはもとより、広く、一般利用者と関係事業者の理解と協力を得て、次のような措置が講じられることが必要である。

ATM周辺における、顧客に対する注意喚起や声掛け
顧客に対する、1日当たりのATM利用限度額引下げの推奨
携帯電話を使用しながらATMを操作しない環境整備
サングラスや帽子の着用により顔の見えない状態でATMを操作しない環境整備
犯罪に悪用されている口座を監視するシステムの導入

3 匿名の携帯電話と口座の一掃

振り込め詐欺は、匿名化した携帯電話と口座なくして成り立たない。誰が使っているかわからない携帯電話と口座を一掃し、犯罪者に道具を与えないため、広く、一般利用者や関係事業者の理解と協力を得て、次のような措置が講じられることが必要である。

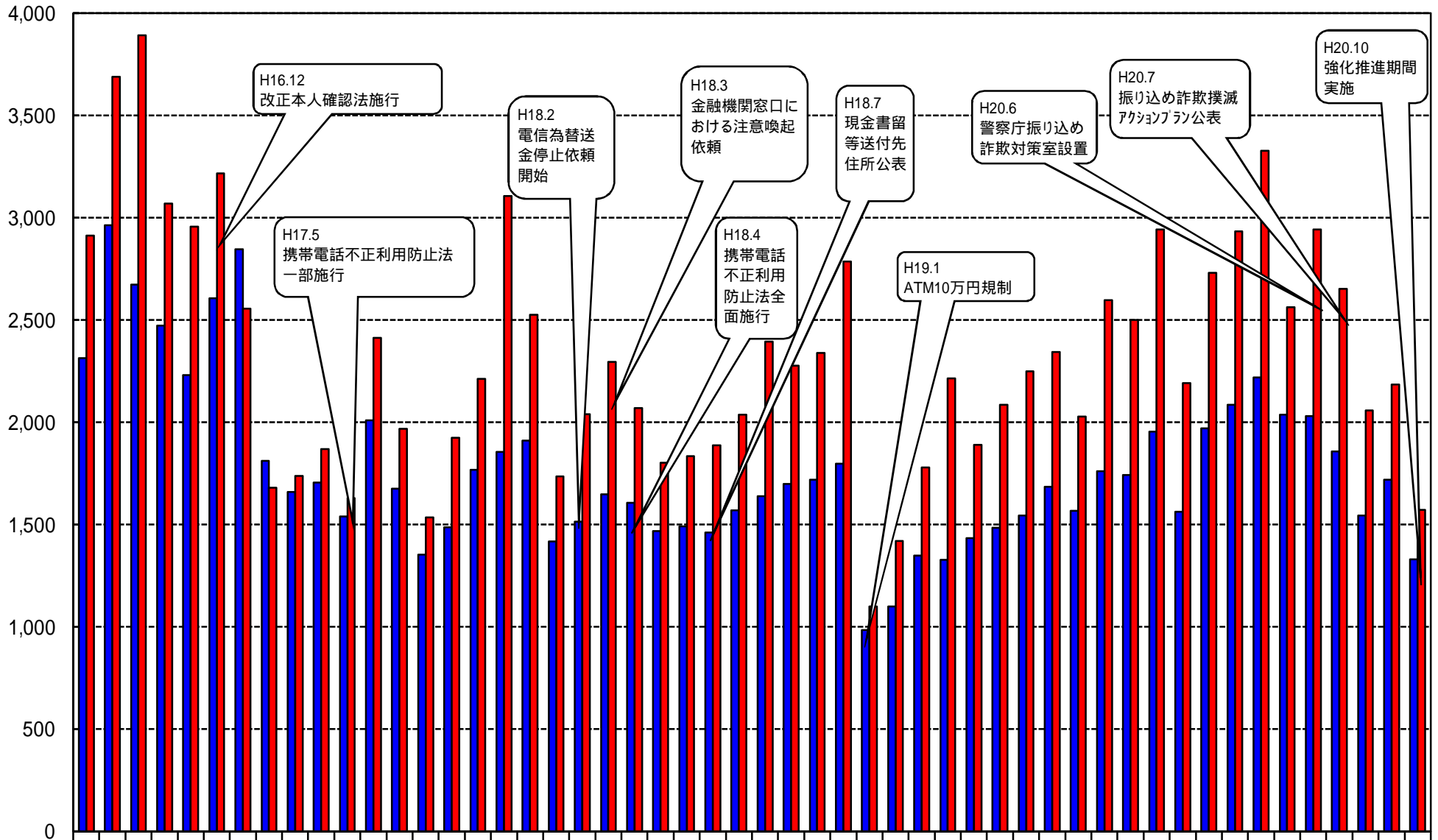
契約時と譲渡時における、より確実な方法による本人確認の実施
個人による携帯電話や口座の多数契約の抑制
携帯電話や口座の違法な売買やレンタルに係る広告の掲載拒否又は削除

4 被害予防活動の徹底

振り込め詐欺に引っかからないよう、広く国民に対して、最新の手口に関する具体的な情報を提供するほか、多額の送金を急ぎ立てるような電話を受けた際には、振り込む前に、家族や警察の相談窓口（9110）等に連絡して真偽を確認するよう広報を徹底するなど、被害の未然防止に万全を期す。特に、高齢者に対しては、あらゆる機会を活用して、直接、注意喚起を呼び掛ける。

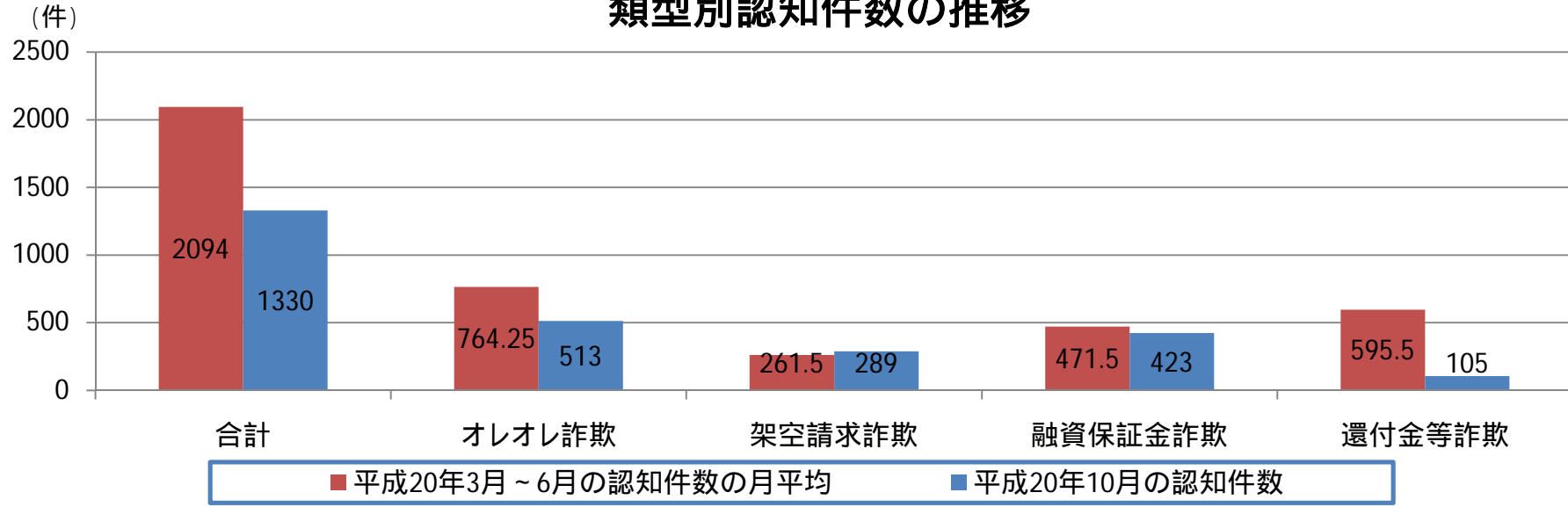
振り込め詐欺に係る諸対策の実施と認知状況(H16.7～)

件・百万円

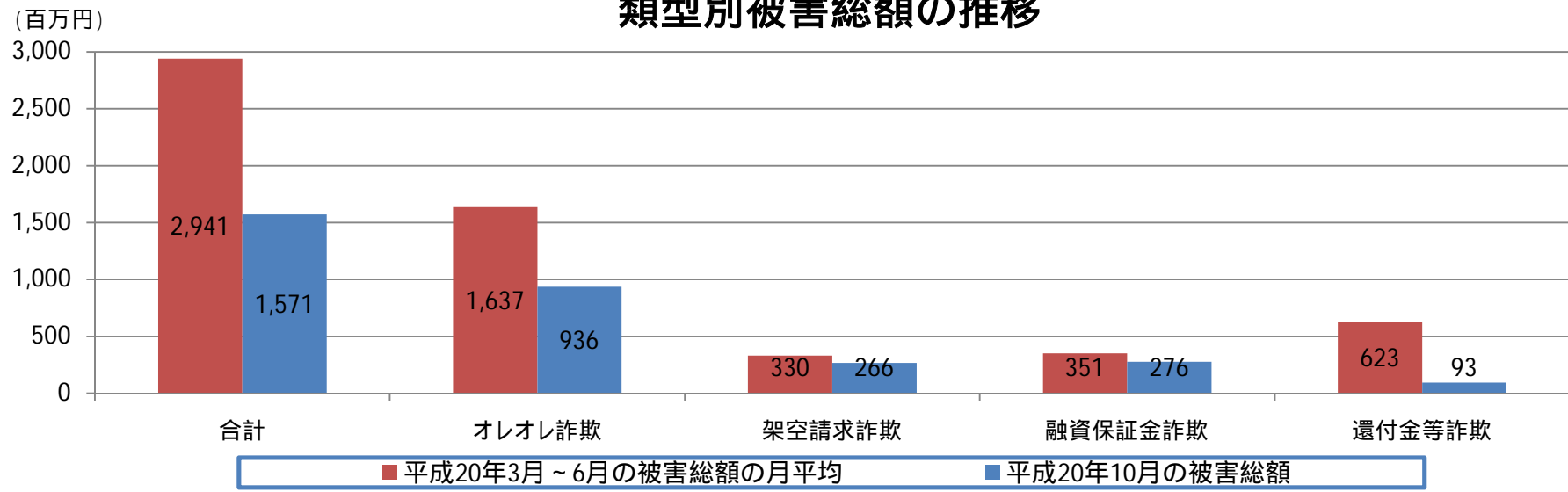


	H16.7	8	9	10	11	12	H17.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H18.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H19.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
■認知件数	2,314	2,964	2,673	2,473	2,230	2,607	2,846	1,810	1,658	1,705	1,539	2,009	1,675	1,353	1,487	1,767	1,854	1,909	1,416	1,513	1,647	1,606	1,467	1,490	1,460	1,569	1,639	1,698	1,718	1,797	985	1,100	1,347	1,327	1,434	1,485	1,544	1,684	1,567	1,760	1,742	1,955	1,563	1,969	2,086	2,218	2,038	2,029	1,858	1,543	1,720	1,330
■被害額総額(百万円)	2,913	3,688	3,892	3,070	2,957	3,216	2,556	1,680	1,737	1,868	1,630	2,412	1,968	1,534	1,923	2,211	3,106	2,526	1,734	2,040	2,296	2,068	1,802	1,835	1,887	2,037	2,395	2,276	2,339	2,786	1,099	1,419	1,778	2,214	1,889	2,085	2,250	2,343	2,028	2,596	2,500	2,942	2,191	2,731	2,934	3,327	2,562	2,943	2,651	2,058	2,184	1,571

類型別認知件数の推移



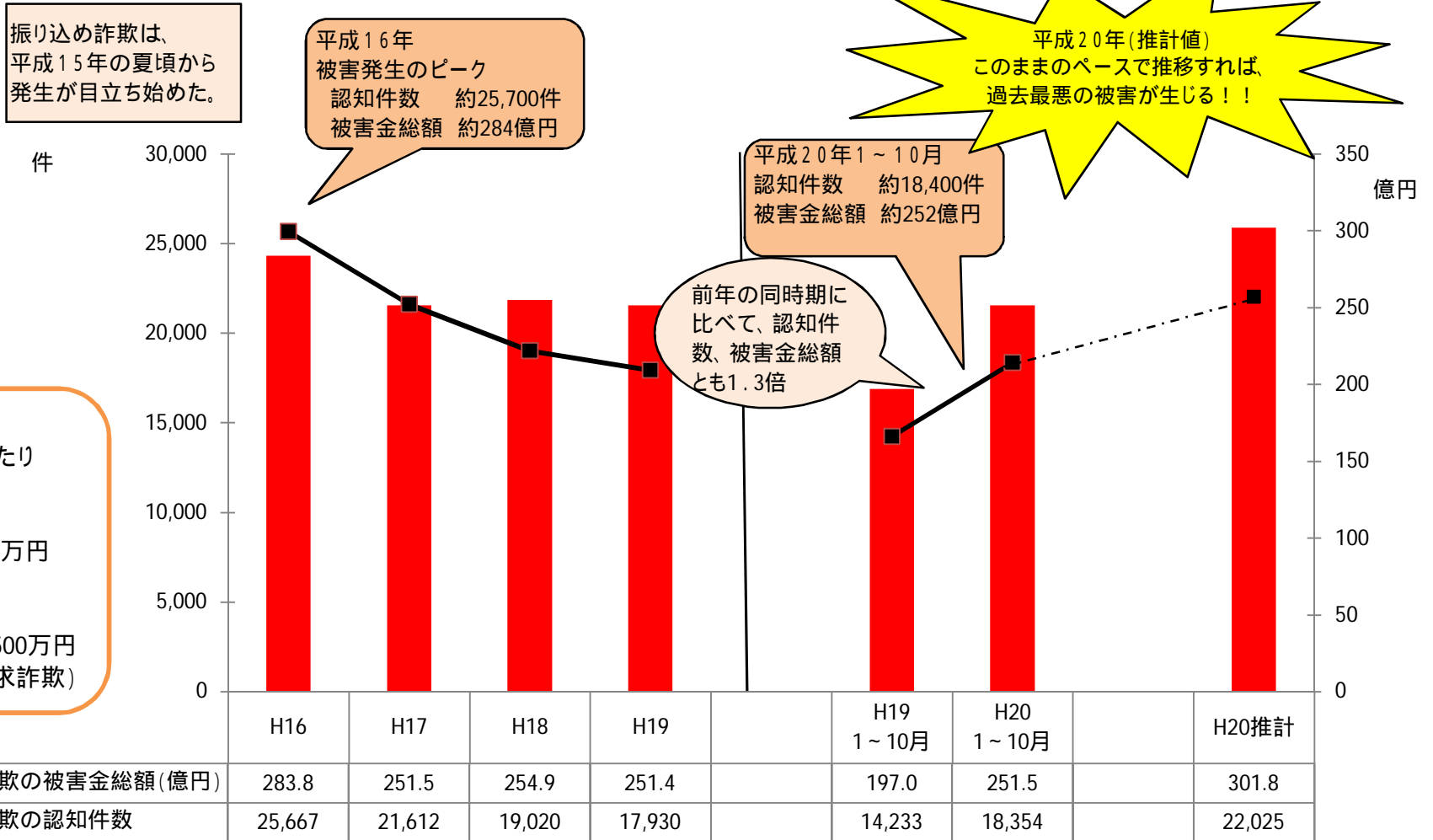
類型別被害総額の推移



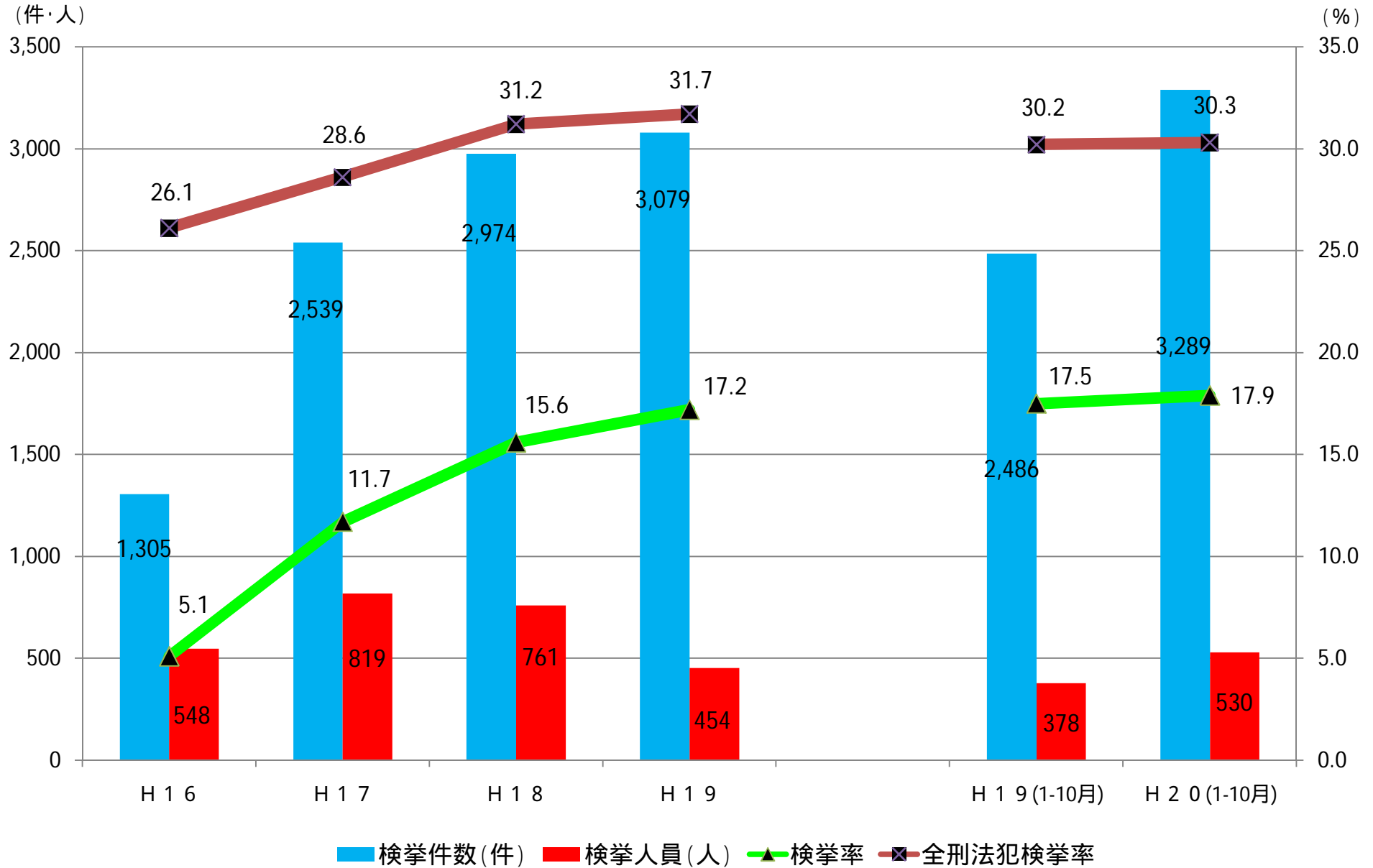
振り込め詐欺における送金手段内訳

H20.1~9			H20.10(1日~31日)		
ATM振込	20.0%	68.4%	無人ATM	15.9%	57.9%
	ATM振替		48.4%	有人ATM	
コンビニATM				1.6%	
窓口	17.3%		金融機関窓口	14.1%	
現金送付	9.0%		エクスパック	14.3%	18.0%
			現金書留	0.4%	
			宅配便	3.4%	
その他	5.3%		手交	8.6%	10.0%
			ネットバンキング	1.3%	

振り込め詐欺の認知件数と被害金総額の推移



検挙件数・検挙人員・検挙率の推移



平成20年(1～10月)の被害者の性別・年齢別構成比(手口別)

(1)オレオレ詐欺

	男(%)	女(%)
20歳代以下	0	0
30歳代	0	0
40歳代	0	1
50歳代	2	12
60歳代	11	30
70歳代	12	23
80歳代以上	3	6
合計	28	72
65歳以上	21	45

(2)架空請求詐欺

	男(%)	女(%)
20歳代以下	18	19
30歳代	11	14
40歳代	8	12
50歳代	5	7
60歳代	2	3
70歳代以上	1	1
合計	45	56

(3)融資保証金詐欺

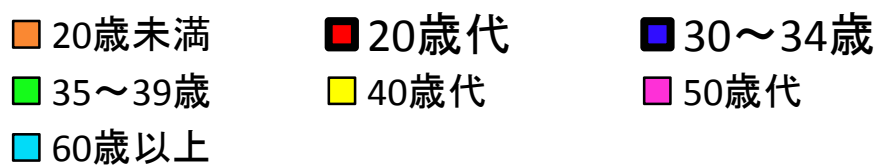
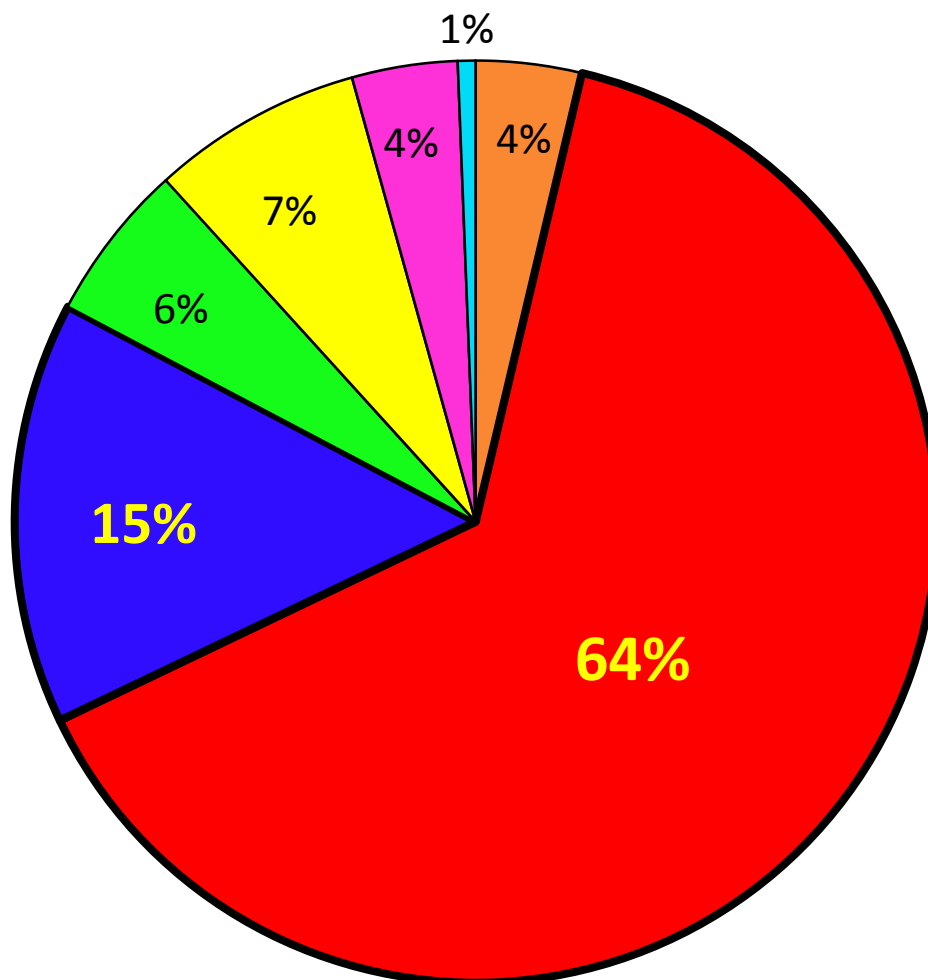
	男(%)	女(%)
20歳代以下	6	5
30歳代	9	12
40歳代	14	13
50歳代	13	9
60歳代	9	5
70歳代以上	3	2
合計	54	46

(4)還付金等詐欺

	男(%)	女(%)
20歳代以下	0	1
30歳代	0	3
40歳代	1	5
50歳代	2	15
60歳代	9	28
70歳代	10	21
80歳代以上	2	4
合計	24	77
65歳以上	17	39

各欄の数値はそれぞれ四捨五入しているため、各欄の数値の合計が100%にならない場合がある。

平成20年(1～5月)に検挙した被疑者の年齢別構成比



※ 四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。